

NEWSPAPER OF ARCHAEOLOGICAL SOCIETY IN EHIME, JAPAN

ISSN 2186-3814

いせき

791-2101 愛媛県伊予郡砥部町高尾田 1108-3

TEL 089-905-2925 そがめ塾気付 遺跡発行会

Eメール walked-metan@memoad.jp

郵便振替口座 01640-0-132658

ニュースレター第201号(7月号)

2025(令和7)年7月1日 遺跡発行会

編集・発行 十亀幸雄

◎研究ノート

The inscription on the stone Jizo in Onohana district, Hitsuchi-cho

日土町尾之花地区の地蔵石像の金石文

清水 真一

はじめに

若狭洋一氏は、「西四国所報 169 号」(2023:3:31)と「同 171 号」(2023:5:31)にて、『三机往還道』を探して「1」と「同」2を書いて、八幡浜市日土町東部の榎木地区から横野峠までの明和6(1769)年指定の「三机往還道」の道筋を推測しました。その間はほとんど記録が無いものの、尾之花地区の旧公民館前の庭で緑色片岩製の供養碑と、地蔵石像の台石に「供養」の文字が刻まれているのを見つけ、「所報 169 号」に記載しました(註1)。

一つは右側に「日光善光寺文政十亥天 願主當村」、中央に「梵字 奉供養四国西国父部坂東」、左側には「七月十八日 七之介」と刻まれていました。有名な日光東照宮と長野善光寺、それに四国・西国(関西)・父部(埼玉県秩父地方)・坂東(関東地方)もあり、七之介と言う人物が文政10(1827)年に四国八十八ヶ所巡礼遍路をした後、関西から関東、そして日光迄向かいました。



第1図 日土町尾之花旧集会所の位置図(●)

第 201
号 目 次

日土町尾之花地区の地藏石像の金石文	清水真一	01-06
南光院当山派山伏墓地(2報) 慶應2年銘 15 号基壇墓と南光院墓地構成	十亀幸雄	07-14
愛媛東中南博物館インフォ7月	会所	06-06
会所だより	会所	15-16

No.201
contents

The inscription on the stone Jizo in Onohana district, Hitsuchi-cho	S.SHIMIZU	01-06
Nanko-in graveyard of Yamabushi(mountain ascetic) belonging to Tozan School No. 2	Y.SOGAME	07-14
What's On at Museums in Ehime Prefecture This July	Kaisho Place	06-06
The Letter from Kaisho Place	Kaisho Place	15-16